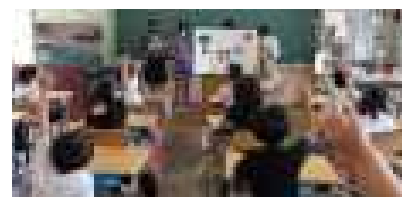


「暑さ対策」小学校委員会活動支援事業に係る報告書兼涼くまグランプリ応募用紙

<p>学校名及び 代表者名</p>	<p>熊谷市立大麻生小学校</p>	<p>担当教諭 連絡先</p>	
<p>1 活動の概要 (実施した活動の概要を委員会別に記入して下さい。)</p>	<p>○保健委員会:熱中症予防教室の実施、熱中症・UV 指数の掲示と放送 CO2マネージャーによる熱中症予防と感染対策</p> <p>○奉仕委員会:来校者へのお礼カードとお茶、塩分タブレットの配布</p> <p>○飼育委員会:ウサギ小屋にWBGT計の設置</p> <p>○図書委員会:熱中症予防啓発紙芝居を1・2年生に配布</p> <p>○放送委員会:涼しさを感じる CD の使用</p> <p>○運動委員会:プール用に散水ホースの設置</p> <p>○栽培委員会:グリーンカーテンの手入れ、水やり</p>		
<p>2 活動の様子や 成果、工夫した 点</p>	<p>【保健委員会】</p> <p>○熱中症予防教室:感染症対策のため、1・2年生のみの実施とし、1年生に紙芝居を、2年生にパネルシアターを行いました。</p> <p>○熱中症指数・UV指数の掲示と放送:2・3階の廊下に掲示板を設置し、朝・業間休み・昼休みに保健委員が測定し、数値を表示しています。業間休みと昼休みには、気温・湿度・熱中症指数の放送も行い、予防と啓発に努めました。熱中症指数が4を超えたら4と書いたパネルを校庭に出し、外遊びを中止しています。</p> <p>○CO2マネージャーによる対策:二酸化炭素測定器を各学級に配布し、保健委員が熱中症予防と感染対策の両立を啓発しました。暑さが厳しい日に効率的にエアコンの使用と換気を行うだけでなく、気温・湿度にも注目させています。</p> <p>【活動の様子や成果】</p> <p>熱中症指数予防教室は、1・2年生が興味を持って、集中して聞いていました。2年生に熱中症について知っていることを尋ねると、たくさんの手が挙がり、答えられる児童が多かったです。熱中症指数・UV指数の掲示と放送では、保健委員が当番を決め、毎日必ず測定や放送をし、児童も掲示を見たり、放送を聞いて、意識できていました。CO2マネージャーは熱中症対策も意識させつつ、コロナ禍での感染症対策も強く意識してもらうため、両方の機能を兼ね備えたCO2マネージャーを各学級に配布し、保健委員が啓発しました。児童もモニターを確認し、換気や気温・湿度を意識している様子が見られました。</p> <p>【工夫した点】</p> <p>熱中症予防教室では、感染対策のため、マスクを着用しながらの実施となり、マスクをしていても聞こえる声の大きさを発表できるよう、何度も練習しました。熱中症指数・UV指数掲示板はどの学級からも見えるように、両面にし、カードをフックにかける形にし、委員会の児童も作業しやすいように工夫しています。</p> <p>【奉仕委員会】</p> <p>○来校者へのお礼:夏の暑い時期は、来校者にメッセージカードを添えたお茶と塩分タブレットを渡しています。</p> <p>【活動の様子や成果】</p> <p>メッセージカードを喜んでくださる方が多く、子供たちも一生懸命作成しています。</p> <p>【工夫した点】</p> <p>メッセージカードを厚紙にし、塩分タブレットを貼り付けました。お茶に輪ゴムでカードをつけ、すぐにつけ外しでき、お茶が飲みやすくなるようにしました。</p>		



	<p>【飼育委員会】 ○ウサギ小屋にWBGT計の設置：ウサギの餌やりや清掃の際、WBGT計を確認し、熱中症にならないように意識して委員会活動を行いました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 暑い中での餌やりや清掃のため、暑い日はなるべく迅速に、WBGT計を見ながら作業していました。</p> <p>【工夫した点】 作業に夢中になると、時間を忘れてしまうため、熱中症指数が高いときはブザー音が鳴るようにし、作業中も音を聞いて、熱中症予防の意識ができるようにしました。</p>
	<p>【図書委員会】 ○熱中症予防紙芝居の配布：1・2年生に熱中症予防の紙芝居を購入し、学級文庫として置きました。各学級には図書委員が届けに行き、たくさん読むように伝えました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 保健委員の熱中症予防教室後に紙芝居が届いたため、子供たちは紙芝居を見る前から熱中症のことについてよくわかっている様子が見られました。</p> <p>【工夫した点】 紙芝居にしたため、低学年の児童は非常に興味を持ち、見たいという声がたくさん聴かれました。</p>
	<p>【放送委員会】 ○涼しさを感じるCDの使用：暑い時期には給食中に涼しさを感じる水の音などのCDを流しました。コロナ禍で黙食を行う中で、耳からも涼を感じられていました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 暑い日には涼しさを感じるCDを使用するように、放送委員が自分たちで判断し、放送していました。子供たちも黙食ということもあり、放送をよく聞いていました。</p> <p>【工夫した点】 同じ音楽ばかりにならないように、流す音楽を変えるなど、工夫しました。</p>
	<p>【運動委員会】 ○プールサイドの散水ホースの設置：プールサイドが非常に暑くなるため、散水ホースを設置し、プールサイドに冷たい水が常に流れるようにしました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 スプリンクラーより、足を冷やすことができる子が多くいました。</p> <p>【工夫した点】 散水ホースにすることで、広範囲に水が流れ、プールサイドの暑さが軽減されました。</p>
	<p>【栽培委員会】 ○グリーンカーテンの手入れ・水やり：毎日、委員会の児童がグリーンカーテンの水やりや手入れをしました。枯れた葉をとったり、ネットに巻き付くようにこまめに手入れをしています。葉の少ない場所には新たにアサガオを植えました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 3階まで届くグリーンカーテンができ、教室や廊下の日差しを遮ってくれていました。</p> <p>【工夫した点】 廊下に伸びてしまっているアサガオはこまめにネットに巻き付けて、廊下での転倒等につながらないようにしました。</p>
<p>3 今後の課題</p>	<p>まだ新型コロナウイルス感染症が流行しており、マスク着用や常時換気が続きます。コロナ禍での暑さ対策をしっかりと実施できるように、感染症対策と熱中症対策を別々に考えるのではなく、同時に効果的に行っていきます。</p>



※審査基準は「独創性」、「波及・汎用性」、「持続性」、児童・生徒の「主体性」の4つ（工夫して記載して下さい。）。

報告書の枠等は必要に応じて調整して下さい（無理に1枚に収める必要はありません。）。